



**令和元年度食品ロス削減のための商慣習検討WT  
加工食品検討会 とりまとめ**

**令和2年3月  
公益財団法人流通経済研究所**

## 次年度以降の取り組みの方向性

---

- **賞味期限が一定程度長い食品の流通上の廃棄・ロス削減の拡大に向けて、製・配・販事業者が連携し、消費者の理解を得ながら、以下の取組を進める。**
  - **1 納品期限緩和の実施企業の拡大**
    - ・ **納品期限緩和の実施状況を把握し、未実施企業の納品期限緩和を促進するため、納品期限緩和の具体的運用方法の普及啓発等を行う。**
    - ・ **「『全国一斉』商慣習見直し運動の日」である本年10月30日に向けて、推奨品目における納品期限の緩和の実施企業の拡大を図る。**
    - ・ **把握した納品期限緩和の実施状況を公表・普及することにより、一層の取組促進を図る。**
  - **2 納品期限緩和 実施対象商品の拡大**
    - ・ **加工食品の賞味期間別に、納品期限が緩和された場合の食品ロス削減効果や、小売業側への影響等について、調査・検討を深める。**
    - ・ **その上で、納品期限緩和を今後拡大すべき商品やその進め方についての今後の方向性を提示する。**

## 次年度以降の取り組みの方向性（つづき）

---

- 3 汎用物流センターにおける納品期限緩和の拡大
  - ・ 汎用物流センターの納品期限緩和の模範的事例の周知・横展開を図る。
  - ・ 「『全国一斉』商慣習見直し運動」による納品期限の緩和実施企業の拡大を踏まえて、汎用物流センターにおける納品期限の緩和を促す。
  
- 4 賞味期限の延長・賞味期限表示の大括り化拡大に向けた検討
  - ・ 調査結果を公表し、メーカーの取組拡大を促す。
  - ・ 「『全国一斉』商慣習見直し運動の日」である本年10月30日に向けて、賞味期限表示の大括り化の拡大を図る。
  - ・ 引き続き、業界団体を通じた実態調査を実施し、進捗状況を把握する。